

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第1回行財政改革推進委員会
開 催 日 時	令和4年1月12日（水）午後2時から午後4時まで
開 催 場 所	吉川市役所305会議室
出席委員（者）氏名	石阪督規委員長、荻須憲司副委員長、對馬友彦委員、山野隆子委員
欠席委員（者）氏名	小助川美穂委員
担当課職員職氏名	政策室副室長兼主幹 岡崎久詩 政策室企画担当副主幹 相川美佐子 政策室企画担当主事 三浦雄太郎、政策室企画担当主事 野口陽子
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 委員委嘱 3 委員・職員紹介 4 議事 （1）委員長、副委員長の選任について （2）吉川市の行財政改革について （公開） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料</span> 令和3年度第1回吉川市行財政改革推進委員会 資料 5 その他 6 閉会
非公開の理由（会議を非公開にした場合）	なし
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	次第、令和3年度第1回吉川市行財政改革推進委員会 資料
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	荻須憲司副委員長、對馬委員
その他の必要事項	なし
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
事務局	1 開会 ただ今より、令和3年度第1回行財政改革推進委員会を開会する。  2 委員委嘱 政策室長から委員に委嘱書を交付。

－政策室長あいさつ－

### 3 委員・職員紹介

事務局

学識経験者として埼玉大学教授の石阪委員、市民公募の對馬委員、荻須委員、埼玉県職員の子野委員。

なお、市民公募の小助川委員は欠席。

事務局職員は、政策室副室長兼主幹の岡崎、政策室企画担当副主幹の相川、主事の三浦、主事の野口。

### 4 議事

#### (1) 委員長、副委員長の選任について

事務局

－委員長、副委員長の選任－

石阪委員を委員長、荻須委員を副委員長に選任。

委員長

－署名委員の選任－

荻須副委員長、對馬委員を議事録署名委員に選任。

#### (2) 吉川市の行財政改革について

委員長

この委員会は、よしかわ行財政改革推進プラン（以下、「推進プラン」とする。）の進捗を確認し、各改革項目についての意見等を述べるものである。

進捗の確認を行う前に、吉川市の行財政改革の概要について、事務局より説明をお願いします。

事務局

－事務局説明（資料1～8ページ）－  
（質疑なし）

委員長

続いて、推進プランの進捗について事務局より説明をお願いします。

事務局

－事務局説明（資料9ページ～）－

### 大柱1 効率的な行政運営

#### ■ 1-①-3 「ICT活用の推進」

委員

保育所入所選考システムについて、AIを導入したとのことだが、これまでもポイントで機械的に決定していたのではないのか。

事務局	<p>これまでは、入所希望者の希望や条件による優先度などを考慮して、手作業で入所先を決定していた。今までの職員の年間の時間外勤務 800 時間のうちこの作業に 500 時間程度かかっていた。現在は、手作業で選考を行った場合と、A I で選考を行った場合の差異が生じている部分について、調整を行っている。</p>
委員	<p>D Xはトレンドの言葉であるが、デジタル化だけではなく、フォーメーションが大事だと言われている。しかし、まずはデジタル化から始めることになると思う。</p>
委員長	<p>D X推進については、費用の規模が大きくなるので、特に民間企業との協力が必要となると思う。</p> <p>D Xの計画は市としてはまだこれから策定する予定か。</p>
事務局	<p>現在、吉川市D X推進計画を策定中である。</p>
委員長	<p>D Xについては、民間の方が進んでいるのではないか。</p>
委員	<p>進んでいるところと進んでいないところは大きな差がある。</p>
委員長	<p>D Xでは、どのような会社のシステムを利用するのかという問題もある。</p>
事務局	<p>D X推進にあたって、デジタル人材の確保も喫緊の課題となっており、職員採用試験で情報処理枠を設け、民間企業経験者を募集しているところである。</p>
委員	<p>I Tに詳しい人材は、ある程度報酬等の待遇を整えないと集まらないと思う。</p>
委員長	<p>技術職として新卒者を採用することも可能と考える。</p>
事務局	<p>技術職を採用する場合、行政の業務内容も熟知する必要があり、採用後すぐに機能するかというところと難しいところがある。</p>

### ■ 1-②-3 「サウンディング型市場調査の活用」

委員

サウンディング型市場調査は最近多いのか。

事務局

今回は、吉川美南駅前に文化施設を造る計画があり、実施したもののだが、業界のトレンドに関する情報やマーケティングに関するノウハウなどが行政にはないため、コンサルに入ってもらいながら実施した。今回のサウンディングでは、立地や施設の魅力、事業のネックと考えられる点などについて事業者から聞くことができ、有効な方法と感じた。

委員長

施設を造っただけで活用されていないということも多いので、サウンディング型の市場調査は有益であると思う。

### ■ 1-②-4 「事業提案制度の推進」

委員

官民連携については、例えば埼玉県では、生命保険会社と包括連携協定を締結し、社員による営業の際に女性向けの支援策についてPRを行ってもらおうなどの取組がある。

委員長

市内に、官民連携に理解のある企業はあるか。民間と連携したくても該当なしということもあるのだろうか。

事務局

行政側からというよりも、生命保険会社や銀行からの提案が多くある。

## 大柱2 効果的な公共サービス

### ■ 2-①-1 「市民ニーズの的確な把握」

委員

市民意識調査の回答率向上のために、今後は電子申請を検討とあるが、若い人は電子化しないと回答してくれないと思うので、大事な取組であると思う。

### ■ 2-①-3 「プロジェクトチーム設置手法の活用」

委員長

令和2年度の進捗結果が「一部実施できなかった」となっているが、具体的にはどのような改革事項なのか。

事務局

部署横断的なプロジェクトを実施する際に、プロジェクトチーム

を作って実施することがあり、通常は個別に要綱を作り、一つ一つチームを設置することになる。それに対して、基本となる要綱等を作っておき、それに基づいて様々なチームを設置する手法があり、その場合一つ一つ要綱等を制定する必要がないため、効率化が図れるというものである。

委員

プロジェクトによっては、関係者を絞ることもあり、それぞれチームの設置の際に要綱を定めた方が実行しやすいこともある。

#### ■ 2-①-4 「多様な人材の確保」

委員長

採用試験にスポーツ枠とあるが、どのようなものか。

事務局

全国大会の出場経験やプロ経験のある方等、スポーツの実績のある方を採用している。スポーツの経験により困難に打ち克つ強い精神力がある方を採用したいという狙いと、プロスポーツ選手は競技によっては選手生命が短いこともあり、引退後の就職先の提供という意味もある。

#### ■ 2-①-5 「活気のある職場づくり」

委員長

職員提案制度について、今年度は提案が4件あり、採用が0件となっているが、どういった内容の提案があったのか。

事務局

成人式でのなつかしの給食の提供、職員の通訳登録制度、公用車の軽トラックの市民貸し出し、VRの活用の4件であった。

公用車の貸し出しについては災害時や公務への支障などの問題があり、採用には至っていない。また、VRの活用については、毎年若手職員の政策形成能力の向上を目的とした研修を行っており、その研修で提案されたものである。

すぐに採用とははならなくても、一度保留となりその後採用されることもある。

#### ■ 2-①-6 「時間外勤務の縮減」

委員

民間企業では36協定により、残業時間については厳しくなってきたが、市役所の時間外勤務は減っているのか。

事務局

新型コロナの影響もあり、イベントの開催中止などで減少してい

るところもあるが、一方でワクチン接種や給付金の事務で通常業務にプラスして業務が追加となる部署もあるため、増減については捉えにくいところがある。

また、ワクチン接種などは、保健師のような専門職でないと対応できない業務もあり、やらなくてはいけない業務でもあるため、全職員について押し並べて時間外勤務を縮減するというのは難しいところもある。

通常業務の時間外勤務については、見える化して縮減に取り組んでいる。

委員長

業務多忙な部署への職員の柔軟な異動は行っているか。

事務局

人事異動や、会計年度任用職員の雇用も行っている。

委員

労働時間の問題は、古くて新しい問題で、民間企業も昔は残業代の未払いや長時間労働の問題は多くあったが、だいぶ変わってきていると思う。

委員長

テレワーク等の勤務形態もあるが、市役所では個人情報の取扱いや窓口業務の対応、労働時間の正確な把握等が難しいだろう。

#### ■ 2-①-7 「職員向け子育て支援及び介護支援制度の利用促進」

委員

男性職員の育児休業取得など、行政は民間企業を先導する意味もあり、地道に働きかけていく必要があると思う。

事務局

男性の1か月以上の育休取得が何人か出てきている。

委員

世間では週休3日制の話なども出ているが、今後制度が変わってくれば、人々の意識も変わっていき、その内当たり前になってくるのではないかと。

#### ■ 2-②-3 「チャットボットの導入」

委員長

令和3年度の進捗結果が「一部実施できなかった（計画の見直しが必要）」となっているが、どのような状況か。

事務局

民間事業者の発案により、市のホームページにチャットボットを

導入し、実証実験を行っているが、うまく機能していないものである。チャットボットの利用率の向上と回答精度の向上は相関関係にあり、市の業務は幅広いため、まだ回答の精度が低く、利用率が向上していないものである。

対象範囲を絞って導入し、徐々に対象範囲を拡大するなどの対応が必要である。

一方、水道課が独自で水道事業に関するチャットボットを導入しているが、こちらは回答の精度も高く、軌道に乗っている。

#### ■ 2-②-5 「SDGs 視点による政策形成」

委員

取組の中にSDGsカードゲームとあるが、どのようなものか。

事務局

職員研修で使用しているもので、与えられた手札を使用してSDGsの17のゴールに関する課題を解決するゲームである。職員が吉川版に改変するなどして取り組んでいる。

#### ■ 2-③-1 「市民参画の推進」

委員長

市民シンクタンクについて、研究費は出るのか。

事務局

勉強会などを行うもので、研究費は出ない。シンクタンクに登録してもらい、民間で長く勤めていたノウハウや自分で研究していることなどを活かして提案をしてもらう。

委員長

提案のテーマは指定するのか。

事務局

テーマの指定は行わず、自由に提案をしてもらっている。

委員長

テーマをしぼった方が建設的であると思う。  
何名登録しているのか。

事務局

50名程度登録しており、20代から80代まで幅広い世代に登録いただいている。

委員

募集は公募で行っているのか。

事務局

公募で実施しており、平成28年4月から実施しているが、当初

かなり制度をPRし、これまでに定着してきているのではないか。

#### ■ 2-③-2 「市民・地域の主体的な地域課題解決の促進」

委員長

地域課題を地域で解決するための勉強会とあるが、こちらは自治会に助成金を支給しているのか。

事務局

地域の自治を目指し、自治会等と一緒にあって、地域の課題を解決しようというもので、減災などについて研究しており、助成金の支給はない。

みらいステップアップ助成事業では、団体に助成金を支給し、事業を始める時に支援を行うものである。

### 大柱3 健全な財政運営

#### ■ 3-①-1 「キャッシュレス決済の導入」

委員

キャッシュレス決済で利用できるサービスはいくつあるのか。

事務局

令和3年1月から市税と水道料金について、4つのサービスでキャッシュレス決済が利用できる。納税通知書に記載されているバーコードを利用したものである。

市側としては様々な収納方法を提供したいが、口座振替の方が手数料が安いのが悩みどころでもある。

委員

手数料など細かいものについて、自分でネットで振込できれば便利になると思うが、行政から通知行為を行わないと支払いはできないと思う。

事務局

国も紙にQRコードを記載したものを通知する方法を推奨しているが、郵送料の方が高つくということもある。

委員長

使えない方に対する保証も必要になってくる。急激に推し進めると、二度手間になったりすることもあるだろう。

#### ■ 3-①-5 「広告収入による財源の確保」

委員長

吉川市でも広告を取り入れる事例が増えてきていると思う。広告を流すモニターの設置について検討しているか。

事務局	<p>事業者から提案は受けているが、設置スペースや掲載内容の問題などでまだ話は進んでいないところである。</p> <p>また、駅前のロータリーに設置してバスの時刻表などを掲載することも考えているが、屋外広告物に関する規制等もあり、難しいところである。</p> <p>A E D付きの小型モニターを設置する提案もある。</p>
委員	<p>公用車をラッピングカーにして、広告を掲載したらおもしろいかもしれない。</p>
委員	<p>モニターの設置費用等は業者負担となるのか。</p>
事務局	<p>広告収入で費用をすべて賄えるため、業者の負担となる。</p>
委員長	<p>ホームページに広告バナーを掲載する取組は行っているか。</p>
事務局	<p>広告バナーは掲載しているが、実際にバナーがクリックされているのかわからないところがある。また、広報紙にも広告を掲載している。</p>
<p><b>■ 3-①-6 「ネーミングライツの導入」</b></p>	
委員	<p>ネーミングライツの導入はまだないということか。</p>
事務局	<p>道路の名前の募集等はあるが、いわゆる企業の名前が施設の名称に入るようなネーミングライツは進んでいない。</p>
委員長	<p>ネーミングライツは大きな収入源となるものだが、企業に金銭的な余裕がないとなかなか難しい。</p>
委員	<p>ネーミングライツは通常どのように募集を行うのか。</p>
事務局	<p>公募により入札となる。</p>
委員	<p>スポーツ施設や人が多く集まる施設でないと、企業にとって宣伝効果がないため集まらないだろう。</p>

### ■ 3-②-1 「財政情報の見える化の推進」

委員 財政課で作成している「事業のあらまし」(予算の解説書)がわかりやすくよい。細かいものは市民はあまり見ないので、わかりやすい情報発信が大切になる。

委員長 イラストを増やしたり文章をもっと短くするなど改善の余地はある。財政情報の見える化はとても大切な取組だと思う。「事業のあらまし」ではお金の使われ方はわかるが、財政の健全化具合など、他自治体との比較はわからないので、今後は財政情報のわかりやすい発信も求められる。

### ■ 3-③-2 「施設包括管理の導入」

委員 施設管理をまとめて一括で委託を行うということだと思うが、コストの削減にどうつながるのか。

事務局 一括にすることによるスケールメリットや、施設ごとにバラバラに契約、支払い等をする事務手続きにかかる手間の削減が期待できる。庁舎内の委託契約がようやくまとめられたところであり、今後は出先機関について、まとめていきたいと考えている。

指定管理などの大きな民営化は平成18年頃から実施しており、今後コストメリットの見出せるアウトソーシングがなかなかないところである。

委員長 窓口業務のアウトソーシングは賛否両論あるがどうか。

事務局 窓口業務についてアウトソーシングをする場合、恐らく証明書を発行するような部署が先になると思うが、現在も正職員ではなく、会計年度任用職員を雇用して業務にあたっているところでもあり、アウトソーシングによるコスト削減にあまりつながらない。

また、サービスの質の面でも課題がある。

委員 県税事務所においても納税証明書の発行は外注をしているが、徴収は職員が行っている。

## 5 その他

次回の委員会では、次期プランの案について事務局から示す予定

事務局

である。開催時期は2月末から3月上旬を予定している。

副委員長

## 6 閉会

—副委員長挨拶—

次回も忌憚のない意見をいただきながら、吉川市の行政がうまくいくようにみんなで考えていきたいと思う。

以 上

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年 2月15日

署名委員 (荻須 憲司副委員長 自署)

署名委員 (對馬 友彦委員 自署)